

廃止のJISの計画(案)

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	制定・改正・廃止する理由(必要性)	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	素案作成者	作成開始予定
JSA	情報	廃止	X5150	構内情報配線システム	Information technology—Generic cabling for customer premises	JIS X 5150:2016は、ISO/IEC 11801:2011(ed.2.2)のIDT規格であるが、ISO/IEC 11801の第3版への改正作業が中止となり、これに代わってISO/IEC 11801-1～-6が2017年に制定された。 ISO/IEC 11801-2は、ISO/IEC 11801:2011(ed.2.2)の個別要件について改正されたものであり、ISO/IEC 11801-1は、次の全ての規格に対する一般要件を規定している。 ・ISO/IEC 11801-2: オフィス施設(旧:ISO/IEC 11801の個別要件) ・ISO/IEC 11801-3: 産業用施設(旧:ISO/IEC 24702の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-4: 個別住居(旧:ISO/IEC 15018の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-5: データセンタ(旧:ISO/IEC 24764の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-6: 分散型設備(旧:なし) 今回のISO/IEC規格の見直しは、AIを用いたビッグデータの活用、IoTなどに対応するための新たな配線規格の必要性などが検討されるなかで、規格体系を含めて改正する必要性に対応したものである。 基になる国際規格の変更に伴い、JIS X 5150-1及び-2を制定するため、これらの規格の制定に合わせて、JIS X 5150:2016を廃止する。	ISO/IEC 11801:2011 Information technology — Generic cabling for customer premises — Part 1: General requirements	IDT	一般社団法人電子情報技術産業協会	2020年4月